

氏名	柳澤 伸彰	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	歯科学、解剖学、口腔解剖学、組織・発生学				
学位	博士（歯学）				
学歴	1996年 - 2002年 東京歯科大学歯学部歯学科、2002年 - 2006年 東京歯科大学大学院歯学研究科				
経歴	2006年4月-2016年12月 東京歯科大学研究助手、2007年1月-2017年3月 昭和大学歯学部助教、2017年4月-2017年7月 昭和大学歯学部講師、2017年8月-2025年3月 埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2025年4月- 埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本歯科医療管理学会、日本歯科衛生教育学会、日本歯科医学教育学会、東京歯科大学学会、日本解剖学会、歯科基礎医学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 口腔保健科学専攻における養護教育履修者の卒業時の動向 平成18年度（2006）～令和7年度（2025）	共著			子ども・教職研究；9；P.27-30	佐藤玲子、林桜、 <u>柳澤伸彰</u> 、吉田隆、高久悟	2026.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	組織学・発生学	○	8	口腔領域を中心に、全身の微細構造と機能の関係および個体発生について理解を深めるため、確認問題を取り入れ、基礎知識の定着を図った。			
2	免疫学	○	8	免疫のメカニズムや感染症について、動画教材や確認問題を活用し、視覚的かつ能動的な学習を促すことで、学習意欲の向上を図った。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	口腔解剖学Ⅰ	○	8	頭蓋骨模型や解剖ノートを用いた授業および人体を用いた学外実習を実施し、課題提示を通じて自己学習を促し、学習意欲の向上を図った。			
2	口腔生理学	○	15	一般生理学の復習を踏まえ、口腔解剖と関連づけながら口腔機能の基礎知識の習得を目的に、動画や確認問題を活用した授業を行った。			

3	口腔機能リハビリテーション	○	15	摂食嚥下に関する解剖生理学について、動画や確認問題を活用し、臨床的知識および実践力の習得を図った。	
4	口腔解剖学Ⅱ	○	15	頭蓋骨・歯型模型やCD-ROM教材を用いた授業および歯型彫刻実習を実施し、課題提示を通じて基礎知識の定着と学習意欲の向上を図った。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	チーム歯科医療学Ⅱ		24	感染対策に配慮しつつ歯科診療補助実習を指導し、知識の応用を通じて基本的スキルの習得と学習意欲の向上を図った。	
2	チーム歯科医療学Ⅲ		6	臨地・臨床実習Ⅰに際し、実習準備と問題点の抽出を行い、主体的学習と実践的思考力の向上および他職種連携への意識づけを図った。	
3	チーム歯科医療学Ⅳ		15	臨地・臨床実習Ⅱ・Ⅲと連動し、カンファレンスや発表を通じて既習知識の体系的理解を促し、主体的学習と実践的理解の向上を図った。	
4	ヒューマン体験実習		2025.7～2025.10	担当教員として施設担当者と連携し、グループ活動の円滑な進行を支援するとともに、ファシリテータおよび学生への指導・支援を行った。	
5	臨地・臨床実習Ⅰ	○	2025.10～2026.4	大学病院や高齢者施設等で実習を実施し、事前調整を通じて円滑な運営に努め、基礎的能力とコミュニケーション能力の向上を図った。	
6	臨地・臨床実習Ⅱ	○	2025.4～2025.7	各種医療関連施設で実習を実施し、施設と連携しながら、実習Ⅰの経験を踏まえ、応用力の向上とチーム医療への理解の深化を図った。	
7	臨地・臨床実習Ⅲ	○	2025.4～2025.10	地域歯科医療の現場で実習を実施し、関係施設と連携しながら、実践力の向上および多職種連携とコミュニケーション能力の強化を図った。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2025.3～2026.1	主指導 3名	副指導 名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	夢を見つける！リアル体験教室		口腔保健科学専攻	歯と口の健康を守る歯科衛生士になりたい	2025. 7
2	大袋公民館主催事業「白梅学級」		大袋公民館	「いつまでも元気に食べるために！-今日からできるお口の健康法-」（地域高齢者の口腔ケア）	2025. 9
3	地域公開講座		口腔保健科学専攻	「お口の健康づくり」	2025. 10(2日間)
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期
1	埼玉県摂食・嚥下研究会				2021. 3～2026. 3
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称		内容		年月
1	該当なし				

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会委員		2024.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	カリキュラム検討部会委員		2024.4～2026.3
3	学科等における委員会等	SPU学会編集委員会委員		2018.4～2026.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス（3日）		2025.6～2026.8
5	学生支援	非常勤講師担当科目の教育支援（2科目）、口腔保健科学専攻学生の相談指導		2024.4～2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			